

多治見高校トピックス ～科学部生物班 伊藤青少年育成奨励会より スズメバチ・クロスズメバチの生態研究費受領～

今年度から、多治見高校は岐阜県の地域課題探究型学習（ふるさと教育）の推進校になっています。多治見高校の科学部生物班では、ふるさとの東濃地域で秋の味覚として人々に食べられるスズメバチ・クロスズメバチの生態を1年間かけて調べます。特に、スズメバチやクロスズメバチが何を食べているのかを中心に遺伝学的な手法を用いて調べていきます。そして、今回、この科学部生物班の研究が公益財団法人伊藤青少年育成奨励会様に地域振興支援事業の一環として研究費助成という形で応援していただけることになりました。7月18日に開かれた伊藤奨励会の贈呈式には本校の鈴木校長が参加し、研究費を受け取りました。



本校鈴木彰校長と伊藤青少年育成奨励会理事長の田代久美子様

7月25日には科学部生物班の生徒が中津川市付知町に行き、地元の蜂愛好家の方々に蜂取りを教えていただきました。最初はなかなか怖がって蜂取りを見学するだけでしたが、次第に慣れて、最終的に1つの巣を見つけ、掘り出すこともできました。



付知ブラックビークラブの高橋さんと本校科学部生物班の生徒



お世話になった付知ブラックビークラブの皆さん

担当：佐賀達矢